

ニューズレター発行年間計画

発行月	掲載内容	仕様	備考
8月	-概要（公募事業に認定・BDF 運行・協議会設置） -路線図・運行概要	A 4	
9月	-バスツアー募集 -バス待合所設置候補 -『かしこいクルマの使い方（第1回目）』 地球温暖化のメカニズムと交通手段による CO2 排出量の 差異	A 4	待合所設置希望調査
10月	-OD 調査結果(1回目) -『かしこいクルマの使い方（第2回目）』 費用の話、事故と消費カロリーの話	A 4	
11月	-BDF の特集（BDF のメリット・製造方法とメカニズム・現状の 回収量・BDF に関する Q&A） -廃食油の回収に関する協力依頼（廃食油回収場所・方法のお知 らせ） -帯広でのバスによる回収事例&小学校との連携 -下段社長のインタビュー記事 -第4回協議会開催報告 -バスツアー報告	A 3	BDF 回収システム を提示し収集開始 同時に小中学校へM Mを行う
12月	-上半期実績報告 -音声案内システム設置報告 -ふれあいバスの特色（料金形態や運行方法）	A 4	
2月	-OD 調査結果(2回目) -バス待合所設置報告 -物流システムの検討結果（アンケート調査結果等を含む） -第5回協議会開催報告	A 4	物流システム開始は 4月を予定
3月	-次年度の事業の紹介	A 4	4月ダイヤ改正のバ スマップも同時配布

とうべつバス通信



2008年8月1日発行 | 発行・当別町地域公共交通活性化協議会

当別町のコミュニティバス、「当別ふれあいバス(愛称:ふれバ)」は、試験運行から数えて、今年で3年目をむかえます。平成20年4月からは新路線も加わりました。

本通信では「ふれあいバス」を中心に「住みやすいまち・暮らし方って?」についても、お伝えしていきます。

当別町コミュニティバスは、全国的にもめずらしい、行政と民間が役割分担をして運行するバス。もっと使いやすいバスになるために、新しい取組みが始まります。

当別町の「ふれあいバス(コミュニティバス)」が、平成二十年度の国土交通省北海道運輸局の公募事業の認定を受けました。これは、コミュニティバスや乗り合いタクシーなど、地域オリジナルの創意工夫を支援して、交通からまちが元気になることをめざすものです。今回、当別町を含めて、全道で二十件の計画が認定されました。

話題1
ふれあいバス、
公募事業に認定!

通勤・通学に

お買い物に

用事に合わせた
当別町のバスです。

バスへ!



廃油回収



燃料に再生

ふれあいバスは「再生燃料」を使って運行しています。「再生燃料」は、ご家庭などで使われたてんぷら油などを回収し、燃料に再生したものです。

話題2
BDFで走ります。
(再生燃料)

話題3
「地域公共交通活性化協議会」立ち上げ

当別ふれあいバスはこれまで、町が主体となり運行していましたが、これからは、地域公共交通活性化協議会が運行することとなり、去る二月一日、当別町役場で第一回協議会を開催しました。協議会にはバス利用者や事業者、行政関係者が参加。コミュニティバスを中心に「便利に、そしてずっと使える公共交通」について話し合いを進めることになりました。

← どこを走っているの?

2面へ



コミュニティバス、本通信へのお問い合わせ

当別町地域公共交通活性化協議会事務局
(当別町企画部企画課内)

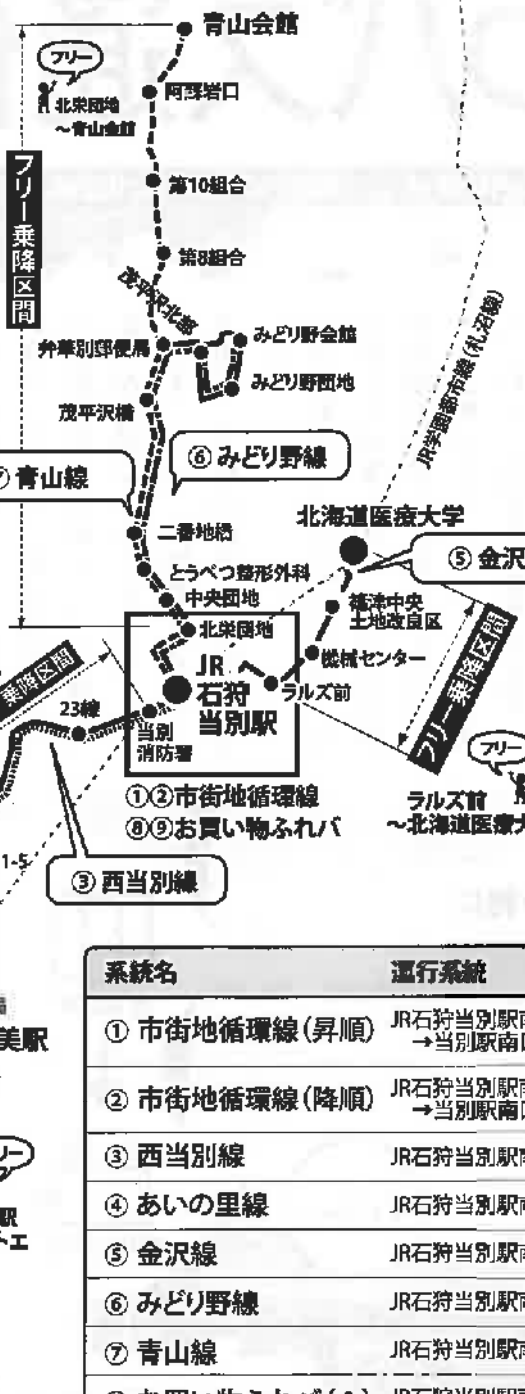
〒061-0292 当別町白樺町58-9
TEL 0133-23-3042 FAX 0133-23-3206

「ふれあいバス」
運行範囲・主な停留所



フリー乗降区間

バス停以外でも乗降できる区間です。
乗車…手をあげてください。
降車…運転手に声をおかけください。



「ふれあいバス」は、
用途に合わせた
10路線。



当別町は、縦長のまちです。
「ふれあいバス」は町の形に
沿って、通勤・通学最寄りの駅や
買い物、病院など、用事に合わせ
た10路線で運行しています。

自家用車代わりのバス。

運行時間は、通勤・通学時間帯
に合わせています。

また「お買い物ふれバ」は、お
店の前でバスが30分停車します。
バス料金は一回200円。お得な回数
券・応援券もご用意しています。

系統名	運行系統	運行回数
① 市街地循環線(昇順)	JR石狩当別駅南口→栄町 →当別駅南口→春日町→当別駅南口	4便
② 市街地循環線(降順)	JR石狩当別駅南口→春日町 →当別駅南口→栄町→当別駅南口	4便
③ 西当別線	JR石狩当別駅南口→ロイズふと美工場	往復6便
④ あいの里線	JR石狩当別駅南口→医療大学あいの里キャンパス	往復8便
⑤ 金沢線	JR石狩当別駅南口→北海道医療大学	往復12~14便
⑥ みどり野線	JR石狩当別駅南口→みどり野会館	往復3便
⑦ 青山線	JR石狩当別駅南口→青山会館	往復5便
⑧ お買い物ふれバ(A)	JR石狩当別駅南口→春日町→ラルズストア	往復2便
⑨ お買い物ふれバ(B)	JR石狩当別駅南口→下川町→ラルズストア	往復2便
⑩ Sui Suiふれバ	JRあいの里公園駅→区域内運行 (青山地区を除く)	予約制

運賃

応援券

月/区分	一般	小・中・高校生 障がい者・介護人
1ヶ月	4,000円	2,000円
3ヶ月	10,000円	5,000円
6ヶ月	16,000円	8,000円

応援券以外の運賃

- ・全路線(Sui Suiふれバ以外)1路線 200円
- ・回数券(12枚綴) 2,000円
- ・Sui Suiふれバ: 応援券提示なし 1,000円
応援券提示あり 500円

応援券販売所

販売所	電話番号	取扱時間
当別町商工会(錦町)	23-2447	9時~17時(平日のみ)
ふれあい倉庫(錦町)	27-6600	9時~17時(月曜定休)
老人クラブ連合会事務局 (ゆとろ社会福祉協議会内)	22-2301	9時~17時(平日のみ)
(有)下段モーターズ(樺戸町)	23-2630	9時~18時
北洋交易(株) (スウェーデンヒルズ管理センター内)	26-2348	9時~18時
(株)小島商店(太美町)	26-2410	8時~21時
とうべつ整形外科(六軒町)	25-5040	9時~18時(月~金) 9時~12時(土)

とうべつバス通信



2008年9月1日発行

発行・当別町地域公共交通活性化協議会

変わります 「バス停」を より身近に

一気に秋の気配がただよいはじめた今日このごろ、みなさまいかがお過ごしでしょうか？
今月のとうべつバス通信は、バスについての募集を2件ご案内します。
また、読み物は「地球温暖化と交通」の関係についてのお話です。

お近くの「バス停」が変わるかも知れません。
活性化協議会では現在、新しいバス待合所の整備をすすめており、「清掃や除雪を地域で行える」とお申し出いただいた地域から、優先的に行います。
新しいバス待合所は、雨や雪の時にも安心してお使いいただける、屋根のあるタイプ。また待合所内には地域の行事や、バスに関するお知らせなどを告知するための掲示板を設置します。設置をご希望の地域は、協議会事務局までご連絡ください
(23・3042)。



現在のバス停



新しいバス待合所
(予想図)

秋を満喫！

日帰り ふれバツアー

日頃の「ふれバ」ご利用に感謝を込めて、日帰りバスツアーを企画いたしました。
秋の休日、旬のくだものや、ユニークな動物たちとふれあって過ごしませんか？

毎日運行中です。



くだもの狩りツアー

仁木町・観光農園で秋の味覚を満喫。

平成20年10月18日(土)

旭山動物園ツアー

新施設「オオカミの森」オープン。

平成20年10月25日(土)

応募期間：8月18日(月)～9月16日(火)

定員 各コース15組
(2名1組30名様)
参加料 お一人様 1,000円
集合解散 当別町役場
(8:30集合～18時解散予定)

応募方法

バス内に置いてある「応募券」のスタンプを5個集め、必要事項を記入して運賃箱へお入れください(運転手にお声かけください)。

- 応募はお1人様1枚です。
- ツアーの参加は当別町在住か、当別町に通勤・通学されている方に限定させていただきます。

コミュニティバス、
本バス通信へのお問い合わせ

当別町地域公共交通
活性化協議会事務局
(当別町企画部企画課内)

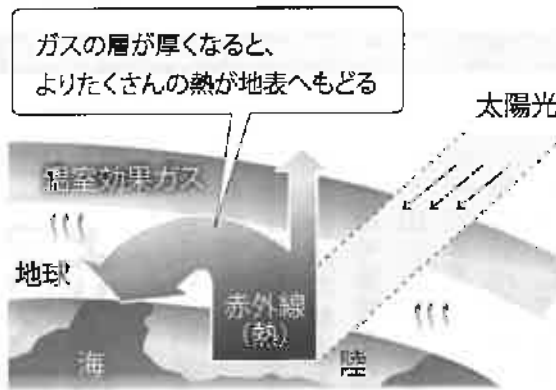
〒061-0292
当別町白樺町58-9
TEL 0133-23-3042
FAX 0133-23-3206



【温暖化と毎日の交通手段】

地球温暖化とは

地球の上空には「温室効果ガス」とよばれる二酸化炭素(CO₂)を主成分とする大気の層があります。地球は太陽からの光や熱に暖められ、地表面ではその熱を放射していきます。温室効果ガスは、その地表からの熱を宇宙へ逃がさない役割があります。これにより生き物が暮らしやすい気温が保たれてきました。



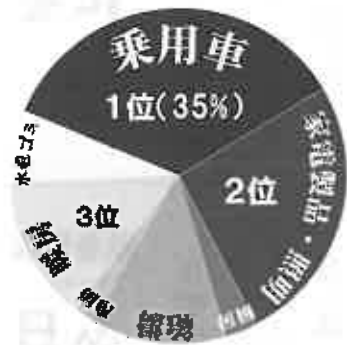
「温暖化」は、この層が厚くなり、より多くの熱が地球にこもってしまふことだと考えられています。地球が暖かくなると、氷河等が解け海水面が上昇するほか、台風が増加や集中豪雨など異常気象の増加、マラリアなど熱帯地方の病気が広がるこ

と、また「本国内では、米など農産物の生産量が落ちるのではないかと考えられています。」

生き物は長い時間をかけて環境に適応してきましたが、温暖化は、今までにない速さで環境を変えているのかもしれない。

日常生活では...

二酸化炭素は化石燃料を使うことで発生します。照明をつける、料理をする、お風呂に入る...これら日常生活のなかで、二酸化炭素が排出されています。

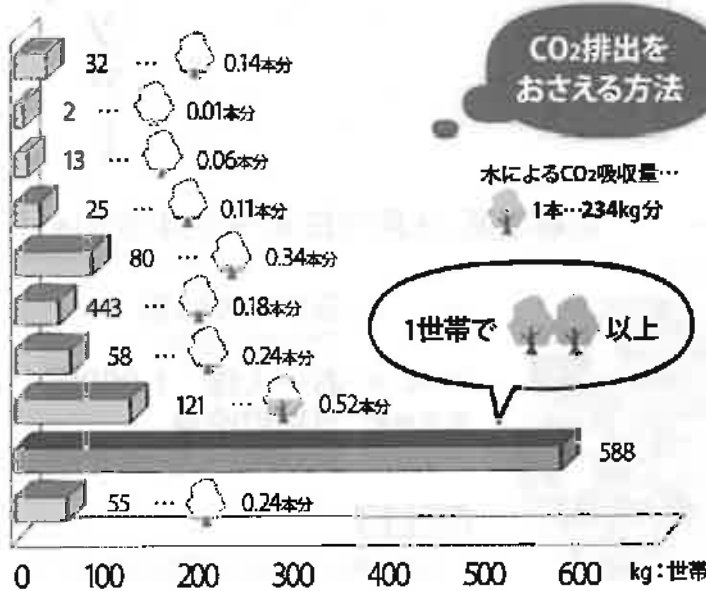


日常生活で排出されるCO₂

排出量をおさえる方法として、「冷暖房の設定温度を変える」「照明をこまめに消す」「テレビを見る時間をへらす」などの方法があります。なかでも効果が大きいのが、乗用車の利用です。

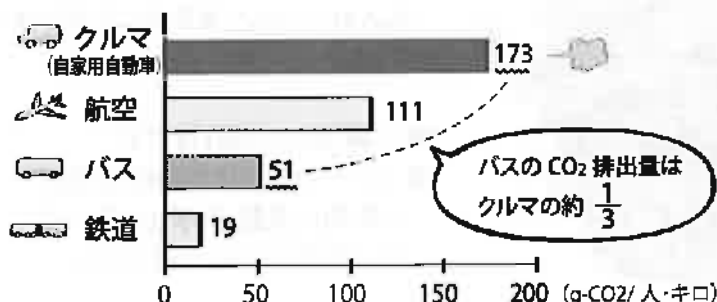
移動と二酸化炭素

乗り物別の二酸化炭素排出量を比べてみます。家用自動車の排出量は、バスと比較するとおおよそ3倍の量にあたるのがわかります。



乗り物別CO₂排出量 (1人1kmあたり)

★より詳しく知りたい方へ...
図の「CO₂排出量」は正確には「旅客送達機関別二酸化炭素排出原単位」といいます。1人を1km運ぶのに排出されるCO₂量について、乗車人数、輸送距離などから算出したものです。(2005年度数値使用)



参照:『運輸・交通と環境』(交通エコロジー・モビリティ財団)

当別町では平成十八年度から、実験的にコミュニティバス(ふれバ)が運行されています。地球環境やまちの将来(まちの交通)のこともちよつとと考えて、いつもの交通を見直してみるのもいいかもしれません。

とうべつバス通信



第3号

2008年10月1日発行 | 発行・当別町地域公共交通活性化協議会

●ご利用者の男女比



調査期間

7月28日(月)～8月3日(日)

調査期間中のご利用者

2,287人(全路線)

うち、土日ご利用者
(みどり野・青山線、西当別線)

168人

※OD調査とは?

どこから乗車(Origin: 起点)・降車(Destination: 終点)したかを調べるもので、バスの運行計画を考える時には重要な情報となります。調査は調査員がバスに乗車し、利用者の乗降を記録する方法で行いました。

**コミュニティバス、
どうお使いですか?**

町民の皆さんはどのように「ふれバ」をお使いなのでしょう。か。「OD調査」という方法によって調べました。

実りの秋、みなさまいかがお過ごしでしょうか。冬を目前に、地域の足・コミュニティバス改良に向けた調査・作業が進んでいます。今月のバス通信では、そんな調査結果の一部をご報告します。また、2面は「日常生活と交通」についてのお話です。

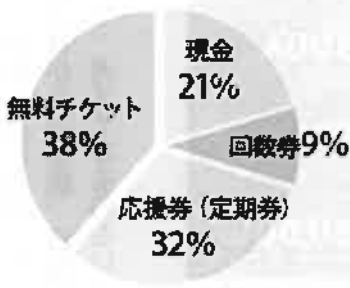
●ご利用者の属性

いろいろな年代の方に
ご利用いただいております



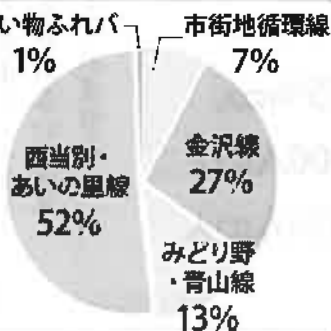
●お支払い方法

応援券・回数券、
お得です。ぜひ
ご利用ください!



●ご利用路線 お買い物ふれバ

乗り継いで
ご利用される方も
いらっしゃいます



今回の調査では無料チケット※のご利用が最も多く、次に応援券のご利用が多い結果となりました。路線ではJR当別～太美を経由する西当別・あいの里線が最も多くなっています。また、当別町中心部を走る市街地循環線では高齢の方のご利用が多く、金沢線では学生さんの利用が多くなっています。

これらの調査結果をもとに、協議会では運行スケジュールやバス停の場所について、新しい計画を検討していきます。

毎日運行中です。



コミュニティバス、
本バス通信への
お問い合わせ

当別町地域公共交通
活性化協議会事務局
(当別町企画部企画課内)

T061-0292
当別町白樺町58-9
TEL 0133-23-3042
FAX 0133-23-3206



※無料チケット

「ふれバ」の運行経費の一部を負担している北海道医療大学と、とうべつ整形外科の学生・患者さんが利用できるチケットです。

【毎日の生活と交通手段】



クルマは、すぐに、いつでも使え、わたしたちの暮らしを便利で快適なものにしてみました。一方で、その便利さのために「使いすぎてしまう」という面も、あるかもしれません。

経済性

かかる時はかかる

クルマで移動すれば、交通費はかからず、切符を買う手間もありません。一方でクルマは、所有するだけでも、車両の代金、税金、車検代、保険代などがかかっています。場合によっては、バスやJRを使った方が、経済的かもしれません。

2,000ccのクルマに7年間乗ると…

車両費	28万/年*
税金	7万/年
車検代	5万/年
駐車場代	6万/年
保険代	10万/年
*車両費 200万円とします	
1日あたり	1,500円 ← 2ヶ月 56万/年

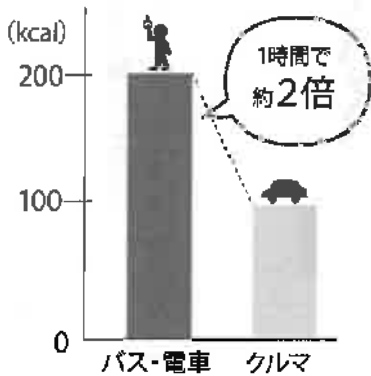
快適性

「Low cost, high pleasure」

クルマに乗れば、重い荷物があっても、座ったまま、楽に移動することができます。しかし、クルマにばかり乗っていると運動不足にもなりがちです。

最近、健康や体力が気になる…という方。たまにはバスやJRを使ってみるのもよいかもしれません。

移動に伴う消費カロリー



出典：第6次改訂日本人の栄養所要量

安全性

運転技術？ 確率？

毎日のようにニュースなどで目にする交通事故。交通事故は、事故の当事者だけでなく、家族や友人をも悲しませるものになります。雨や雪で視界の悪い日や、雪や氷で路面がすべりやすくなるこれからの季節、自家用車を使わない交通手段について、考えてみるのもいいかもしれません。

北海道内における交通事故データ



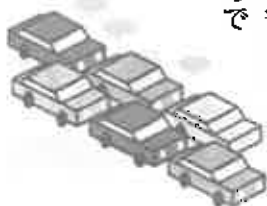
(H17データより算出)

クルマを利用する人は、一生のうち…

- 事故を起こす 55%の人
- 死亡事故を起こす 100人に1人
- 歩行者を死亡させる 250人に1人

スピード：早く着けないこともある

年末年始や夏休みなどに、交通渋滞に巻き込まれたことがある方は、少なくとも一度は試してみませんか。たくさんの方が、いつべんにクルマを使うような時には、きゆうくつな時間を過ごすことになる場合も、あるかもしれません。



行き先や目的に合わせて、かしくクルマを使ってみませんか？